

| | | | |
|---|-------------------------------|--------|-----------|
| 開講年度・学期 | 2018 年度・ 通年 | 授業形態 | 演習 |
| 科目名 | 専門演習（英米法） | 科目ナンバー | JASEM3303 |
| 英語表記 | Seminar on Anglo-American Law | 担当教員 | 勝田 卓也 |
| 単位数 | 4 | | |
| 科目の主題 | | | |
| アメリカ憲法 | | | |
| 授業の到達目標 | | | |
| アメリカの憲法についての基本的な知識を獲得する。 | | | |
| 授業内容・授業計画 | | | |
| <p>アメリカ合衆国憲法はもっとも古い憲法である。200 年以上前に制定されたにもかかわらず、非常に大きな変化を遂げた現代のアメリカ社会でも基本的な秩序を定めた法として生命を保っている。歴史的には、南北戦争の一因となったとさえ言われるドレッドスコット判決（1857 年）や、逆に公民権運動が高揚する誘因となったとの評価もあるブラウン判決（1954 年）のような、国論を二分する重要な問題についての重要な憲法判断が下されてきた。最近でも、同性婚禁止法の合憲性のような現代的な問題について最高裁が重要な判断を行っている。この授業では、アメリカ合衆国憲法に関する様々な問題を検討していきたい。前期には、アメリカ法の基本的な特徴、憲法成立の歴史的経緯、代表的な憲法判例などを学習する。後期には、参加者各自が関心を有するテーマについてリサーチして報告する。アメリカ憲法だけでなく、英米法に関する問題なら何を扱ってもよい。</p> <p>前期には、日本語または英語の文献に基づいて報告してもらおう。後期には、各自の報告に基づいて全員でディスカッションを行い、批判を踏まえた上でリサーチ・ペーパーを作成する。</p> | | | |
| 事前・事後学習の内容 | | | |
| 指定された教材に基づいて事前に準備する。 | | | |
| 評価方法 | | | |
| 出席状況とペーパーによる。 | | | |
| 受講生へのコメント | | | |
| 法と政治について幅広い知的好奇心を持つ学生の参加を望む。 | | | |
| 教材 | | | |
| 適宜配布する。 | | | |
| その他 | | | |
| 履修可能最低年次 | | | |
| 3 年次生以上 | | | |